

新型コロナ

第7波から命とくらしを守る緊急の対策を

ワクチン接種、検査体制の抜本的強化を求める

医療逼迫―県立病院職員169人が出勤できず

大規模イベントの感染対策の徹底、見直し・中止も含めた検討を

新型コロナ・オミクロン株B.1.1.5の感染急拡大により、感染爆発というべき深刻な事態が続く中、8月4日、県議会新型コロナウイルス対策調査特別委員会が開かれ、斉藤県議が質疑に立ちました。

8月3日の厚生労働省の新型コロナ対策アドバイザリーボード資料では、「これまででもっとも高い感染レベルを更新し続け…医療機関や福祉施設だけでなく、社会活動全体への影響も生じている」と指摘されているにも関わらず、感染抑止へ積極的な提起がされない国の姿勢を厳しく批判しました。

1113件のうち、特に命の危険にさらされる高齢者施設で28件(543人)発生しており、頻回のPCR検査をただちに行うよう要求。県側は「希望のあったところから随時PCR検査の実施を予定している」と答えました。

また県は、県立病院職員169人が感染または濃厚接触者となり欠勤(8月2日現在)となっていると説明。ある病院では確保病床以上にコロナ患者を受け入れ、一部病棟をロックダウンしているなど、深刻な医療逼迫の実態が明らかになりました。斉藤県議は、深刻な事態を県民と行政が共有し、医療危機に陥らないよう適切な対策を講じるよう求めました。

7月25日には達増拓也知事に対し、新型コロナウイルス第7波から県民の命と暮らしを守る緊急の申し入れを行いました。

申し入れでは、ワクチン接種が進んでいる一関市に学び、夜間・金曜日の集団接種や対象者への丁寧な対応、高齢者や基礎疾患のある人、医療従事者・高齢者施設従事者の4回目ワクチン接種に取り組んでほしいと求めました。また、高齢者施設、教育・保育施設、学校での定期的なPCR検査、抗原検査キットの無料配布が必要だと指摘。県民対象の無料PCR検査の継続を求めました。さらに、夏祭りなどでは感染防止対策を徹底するよう求めました。

6月県議会

新型コロナ・物価高騰対策等に62億円余「被災者が必要な受診ができるよう求める請願」を採択

6月定例県議会が6月21日から7月5日まで開かれました。新型コロナウイルス対策と物価高騰対策を中心とした62億円余の補正予算が提案され、全会一致で可決されました。

保健所体制の強化については、本庁において1日当たり最大25名の職員を配置し、5月末までに延べ約2260名の積極的疫学調査の業務に従事しています。事業者支援では、1事業者当たり最大20万円の物価高騰対策支援費(11億2千万円余)、最大月5万円×3ヶ月分の物価高騰対策家賃支援費(2億8千万円余)が計上されました。

東日本大震災津波復興の課題では、被災者の医療費免除が昨年末で終了となる中、岩手県保険医協会の被災者医療費窓口負担アンケート調査結果では、住民税非課税世帯の方が、窓口負担が発生したのちに「必要な通院はできていない」との回答は、国保で33%、後期高齢者医療で49%にとどまり、「通院する回数が減った」「通院できなくなった」が国保で60%、後期高齢者医療で43%となつていきます。こうした実態を踏まえて提出された「被災者が必要な受診ができるよう求める」請願・意見書が採択されたことは重要な意義を持つものです(自民党・公明党・いわて新政会は反対)。



達増知事にたいし新型コロナ第7波から県民の命とくらしを守る緊急の申し入れ(7月25日)

7月25日には達増拓也知事に対し、新型コロナウイルス第7波から県民の命と暮らしを守る緊急の申し入れを行いました。



県保険医協会の皆さんが五日市議長に、被災者が必要な受診ができるよう求める請願を提出(6月28日)

6月補正予算では、4回目のワクチン接種に対応する県の集団接種に要する経費(約11億円)、タクシーを利用した高齢者等の接種会場への輸送経費(5千6百万円余)が措置されました。検査体制の強化では、感染拡大・高止まり時のPCR検査の集

2022年8月 No. 180
発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

岩渕友参院議員らが初登院

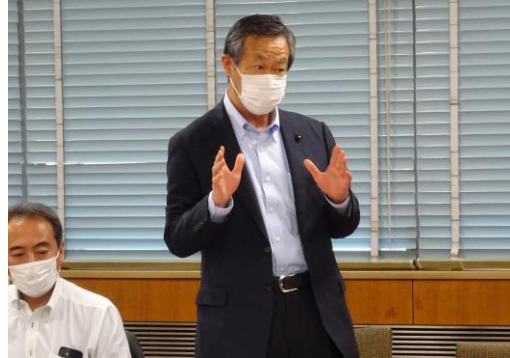


8月3日、臨時国会が召集され、初登院し奮闘を誓い合う(右から)山添拓、岩渕友、田村智子、仁比聡平の各参院議員。

来年度学級編制

県立沼宮内高校の学級減は見直しを

県立福岡工業高校の単独での存続を求める 不来方高校バレー部顧問教諭の懲戒処分について質す



文教委員会で質疑に立つ斉藤県議(7月1日)

8月2日の文教委員会で、来年度の県立学校編制について県教委から説明があり、沼宮内高校(2学級)の1学級減が示されました。斉藤県議は、岩手町が2学級維持へ、通学費補助や公営塾等の努力を行い成果があまり始めていると強調。また

高校再編後期計画での不来方高校と盛岡南高校の学級減は「盛岡一極集中は正のため」とした県教委の方針から見ても、学級減は見直すべきと強く求めました。

県立福岡工業高校と二戸高校との統合問題について、県教委は「二戸市長・教育長の連名の要望書(5月13日)が出されたことに応えて、工業学科を2学科確保するという形で計画を見直したい」と新たな方向性を明らかにしました。斉藤県議は、工業科2学科を維持するということとであれば、福岡工業高校を単独で維持すべきではないかと質しました。

不来方高校のバレー部員の自死事件に関して、6月24日に顧問教師を懲戒免職処分とした。

陸前高田市で開かれた第6回食と漁の地域未来フォーラム



陸前高田市コミュニティホールで開催された第6回食と漁の地域未来フォーラム(7月24日)

陸前高田市で食と漁の地域未来フォーラム

7月24日、SDGs目標14「海の豊かさを守る」をテーマに、第6回食と漁の地域未来フォーラム

たことについて質しました。懲戒免職処分の理由は「生徒に対する不適切な言動」で、バレー部員の「自死事件との関連は判断できなかった」としています。自死事件から4年近くが経過しての今回の

処分理由は極めて不十分なものです。盛岡一高事件に県教委と学校が適切に対応していれば、不来方高校事件は起きなかつたものです。当時の県教委の対応については引き続き調査中として解明されたいと。佐藤博教育長は「可能な限り速やかに対応したい」と答弁しました。

県議会議員の定数等に関する条例の一部を改正

「県議会議員の定数等に関する条例の一部を改正する条例」が賛成多数で可決されました。その内容は、総定数を48人と現行通りとすること。各選挙区の定数は、人口に比例して定めるとした公職選挙法第15条第8項の規定に基づき、選挙区を、大船渡・陸前高田選挙区(定数2)、九戸選挙区を分割し、洋野町を久慈選挙区(定数2)、軽米町・九戸村を二戸選挙区(定数2)に、盛岡選挙区は定数11人とするものです。現行通りの選挙区の場合では、1人区が6選挙区となりますが、今回の合区により1人区は遠野選挙区の一つとなります。最も合理的な提案でしたが、最後までいわて新政会が反対し、議員提案の発議案となりました。いわて新政会の反対討論に対して斉藤県議が賛成討論を行いました。

無料法律相談

◇弁護士が相談に応じます◇

9月21日(水) 午後6時

10月19日(水) 午後6時

予約電話番号: 651-5881

無料生活相談

毎週土曜日 10時~12時

場所: 斉藤信事務所

陸前高田市と大船渡市越喜来の青年漁師がカキ養殖の改革の取り組み、漁業の働き方改革についてそれぞれ報告しました。

仁平章氏(茨城大学客員研究員・北日本漁業経営研究会理事)が、小規模家族農業・漁業が全経営体の9割以上、食料の8割を生産していると報告。栗原春樹氏(21世紀の水産を考える会)は、福島第一原発事故の汚染水海洋放出阻止へ、①地下水流入をストップし汚染水を増やさない②海洋放出に代わる手段で汚染水を管理・処理することを目指しました。千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合の鈴木正男組合長らは、キンメダイの資源確保の取り組みを紹介しました。

6月県議会に県民から提出された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (賛成:○ 反対:×)

案件	斉藤 信 (日本共産党)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	吉田敬子 (新政会)	高橋但馬 (新政会)	米内紘正 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	千葉絢子 (県民クラブ)	上原康樹 (無所属)
防衛費を対GDP比2%以上に大幅増額することに反対する請願→不採択	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○
被災者が必要な受診ができるよう求める請願・意見書→採択	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
沖縄戦没者の遺骨等を含む土砂の採掘をしないよう求める請願→採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物価高騰対策の強化を求める意見書→否決	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○
県議会議員の定数等に関する条例の一部を改正する条例→可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

- 4月 八幡平市議会 新コロナ調査盛岡保健局
- 18日 新コロナ対策で達増知事に申し入れ
- 20日 県立図書館100周年記念式典
- 23日 盛岡市消防団
- 29日 盛岡市消防団
- 5月 第93回メーデー 岩手県中央集会
- 1日 5.3憲法集会
- 3日 北京2022年オリパラ報告会
- 5日 北野党共同記者会見
- 9日 第6回野党共同記者会見
- 13日 議会調査フードバンク、建設業協会盛岡支部との懇談会
- 14日 木戸口英司事務所開き、松園後援会総会
- 18日 文教委員会調査(わらび座、国際教養大学、大仙市教育委)
- 20日 全県地方議員研修会
- 24日 旧盛岡地利活用期成同盟会の県総務部長への要請
- 25日 議案説明会
- 26日 復興特別委員会(被災者支援センター)
- 27日 臨時議員会(物価高騰対策補正予算)
- 28日 日本共産党街頭演説(志位和委員長、城東〇条の会)
- 29日 日本共産党街頭演説(志位和委員長、城東〇条の会)
- 31日 下米内交差点問題で地元懇談会
- 6月 盛岡市統一要請説明会
- 3日 第6回野党共同記者会見
- 6日 地球温暖化特別委員会(釜石・北上)
- 7日 盛岡大付属高校主権者教育各政党の政策を聞く会
- 8日 物価高騰対策で達増知事に申し入れ、地域議員懇談会(盛岡広域振興局)
- 9日 議案説明会
- 13日 議案説明会
- 14日 県政要望を聞く会、国民平和と大行進盛岡入り
- 15日 国民平和と大行進八重瀬前知事表敬 県庁前スタンディング
- 17日 9条改革「ノー・タワーズ」
- 21日 7月5日 6月定例会議
- 22日 参院選公示(木戸口英司出陣式第一声、日本共産党比例候補第一声)
- 24日 小池書記局長参院選演説
- 27日 30日 本会議 30日に議案に対する質疑
- 7月 文教委員会
- 1日 最終本会議
- 5日 岩手県労働組合連合会
- 15日 参院選報告街頭演説
- 16日 花巻市議選応援、再発防止岩手モデル策定委員会、八日町夏祭り
- 17日 新型コロナウイルス調査(盛岡市立病院)
- 21日 第6回地域と漁のフォーラム(陸前高田市、城東〇条の会)
- 24日 己ノ上対策で達増知事に緊急申し入れ
- 25日 年金者組合本部定期大会
- 29日 高校再編調査(福岡工業高校、二戸市教育委)
- 1日 文教委員会
- 2日 地球温暖化特別委員会、県政調査会
- 4日 復興特別委員会、新コロナ特別委員会
- 6日 2022年原爆死者追悼式(滝沢市)